

第4回白山市教育委員会会議録

1 日 時 令和7年4月30日（水）午後2時

2 場 所 白山市役所本庁舎4階 402会議室

3 出席者

教育長	清水 茂
教育長職務代理者	竹内 千恵子
教育委員	尾張 勝也
教育委員	安川 薫
教育委員	佐賀 一夫
教育委員	林 勝洋

4 事務局

教育部長	谷口 由紀枝
次長兼教育総務課長	西村 幸広
次長兼学校教育課長	山口 昭恵
学校指導課長	齋藤 信之
生涯学習課長	東 雅宏
松任図書館長	澤田 憲司
美川図書館長	中野 康則
鶴来図書館長	東 陽一
子ども総合相談室長	和田 寿美恵

書記職

教育総務課課長補佐	瀬川 達也
教育総務課主幹	山崎 有香

5 傍聴人 なし

6 案件

議案第13号 令和7年度白山市教育行政の基本方針、基本理念等について
議案第14号 白山市青少年育成センター青少年育成指導員の委嘱について

7 議事の経過等 以下のとおり

清水教育長の開議あいさつに続いて、議事録署名委員として尾張委員を指名した。

諸般の報告について、教育部長より教育長が出席した行事の主な概要について報告した。

■主な行事の概要（3月28日の教育委員会以降の報告）

- ・ 3月31日（月） 教育委員会委員辞令交付式（特別応接室）
退任コミュニティセンター長感謝状贈呈式（402会議室）
- ・ 4月1日（火） コミュニティセンター長辞令交付式（402会議室）
白山市立小中学校教職員新任式（市民交流センター）
- ・ 4月7日（月） 市立小中学校入学式
石川県立あすなろ中学校開校式、入学式（同校）
- ・ 4月10日（木） 寄附感謝状贈呈式（特別応接室）
- ・ 4月15日（火） 校長会議（402会議室）
- ・ 4月17日（木） 白山市コミュニティセンター連合会総会（市民交流センター）
- ・ 4月20日（日） 白山市連合壮年会通常総会（松任文化会館ピーノ）
- ・ 4月21日（月） 退職教職員感謝状贈呈式（市民交流センター）
- ・ 4月24～25日 東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会（三重県伊勢市）
- ・ 4月26日（土） 白山市PTA連合会総会、20周年記念式典（グランドホテル白山）
- ・ 4月28日（月） 県教委連「第1回理事会」（金沢市役所第2本庁舎）
市町教育委員会教育長会議（KKRホテル金沢）
- ・ 4月30日（水） J A松任より横断旗寄贈（教育長室）

本日の議題に入り、議案第13号、議案第14号について、質疑・応答が行われ、原案どおり承認し閉会した。

【案件の説明および諸報告について】

案件について、事務局より説明・報告し、原案通り承認された。

【主な質疑・応答の内容について】

○令和7年度白山市教育行政の基本方針、基本理念等について

（竹内教育長職務代理者）

第2次白山市教育振興基本計画を決めるときに、8年というのが非常に長いのではないか、という話をしている、その都度見直していくというようなことを確認したので、改めて確認していきたく思います。8年で決めてしまうと、世の中の流れがとてもスピードアップしているので、我々もその都度アップデートしなくてはいけないのではないか、という確認をしていましたので、新年度、ここに皆さんがいらっしゃる中で、ぜひ行政としても見直すようなことを、その都度お願いしたいと思います。

（西村教育総務課長）

確かに、第2次白山市教育振興基本計画としては8年でございますけれども、必要な見直しは随時、行っていきたいというふうに考えております。

(清水教育長)

市の総合計画が今年度、来年度の2年かけて作っていくという過程を踏まえて、ちょうどその辺りで見直す時期にもなるかと思っています。

(佐賀委員)

ジオパークの再認定ですが、何年後でしたでしょうか。

(山口学校教育課長)

昨年度までジオパーク推進課長をしておりましたのでお答えいたします。来年度の令和8年度に現地調査がありまして、次の4年間の9～12年まで4年間のパスポートを受け取るということです。令和5年度に認定をいただいたので、5～8年の4年間のパスポートを今いただいている。4年毎になります。

(佐賀委員)

現地調査といったら、学校の教育課程にもジオに関して、取り組んでいるかということも調査対象になっているのですか。

(山口学校教育課長)

白山手取川ジオパークの教育活動というのは、非常に高い評価を受けておりまして、大変な強みといたしますか、そこを見せていくということが重要になると思います。特に、学習交流会で子どもたちがお互いに学び合っている、こういった計画の中にジオパークという言葉がしっかりと入っている、ということが非常に後押しになると思われまますので、おそらく次の審査には、そちらの方を強く前に押し出していくと思われまます。

(竹内教育長職務代理者)

認定されたのが全国で10番目ということで、これまでに更新が認められなかったところはありますか。

(山口学校教育課長)

グリーンが4年間で、イエロー、レッドとなるのですけれども、グリーンが認められない場合は、イエローで2年間のパスポートしかもらえないので、その2年の間に改善しなさいということがあります。山陰海岸ジオパークが、一旦イエローになりましたが、昨年度、地域で一致団結してグリーンを勝ち取って、また盛り上がっているところです。

(竹内教育長職務代理者)

イエローになったところをサンプルとして、我々はきちんと押さえていかないといけない

かと思ったものですから、何が駄目なのか、何が推しなのか、ということをごきちんとしていただければ、と思いました。

(尾張委員)

ジオパークの次の更新に向けて、我々はどうしても更新が目的になってしまいがちだけれど、このジオ育をきちんとしていけば、結果、絶対認定されると思っています。ジオ育という言葉もネットで調べてみたけれど、ヒットしないので、きっと世の中の的にも、きちんとして取り組んでいるところがないと思うのです。このジオ育を、それこそ学校教育だけではなくて、生涯学習的に市全部で取り組んでいるということは、今年、一生懸命、僕らもやっていくのですけれど、これを積み上げていけば、特別なことをしなくても、きちんとしていたことをやっていたら、認められるというところに行かないといけません。目的と手段が逆転しないようにしていくのが、教育側の大事なところではないかというふうに思っています。そういう意味で、この「はくさん3育」というのは、いろいろな意味でとても強い指針だと思うし、ジオ育を特に進めていって、特別なものではなくて、ジオ育というものが我々市民の暮らしの中に、当たり前に入っていくようにすることが課題だと思います。今までSDGs、エコといった、いろいろな言葉もあったけれど、それも含めてジオとは自然ということなので、いつも白山市民は自然環境に配慮して、大事に守りながら、未来を開いていきますというようなビジョンさえきちんとしていけば、と思っています。

(清水教育長)

ジオ育を、自信を持って進めていくということで、委員の皆さんにもご協力、ご理解よろしくお願ひいたします。